

平成 2 5 年 第 8 回

## 江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 5 年 4 月 2 3 日（火）午後 3 時

場 所：教育委員会室

|          |   |   |   |   |
|----------|---|---|---|---|
| 委員長      | 松 | 原 | 秀 | 成 |
| 委員長職務代理者 | 早 | 川 | 大 | 府 |
| 委員       | 尾 | 上 | 郁 | 子 |
| 委員       | 石 | 井 | 正 | 治 |
| 委員（教育長）  | 浅 | 野 | 潤 | 一 |

|     |             |   |   |   |   |
|-----|-------------|---|---|---|---|
| 事務局 | 教育推進課長      | 柴 | 田 | 靖 | 弘 |
|     | 学務課長        | 住 | 田 | 雅 | 一 |
|     | 指導室長兼教育研究所長 | 松 | 井 | 慎 | 一 |
|     | 学校施設担当課長    | 佐 | 藤 | 弥 | 栄 |
|     | 統括指導主事      | 浜 | 田 | 真 | 二 |

|    |           |   |   |   |   |
|----|-----------|---|---|---|---|
| 書記 | 教育委員会事務局  |   |   |   |   |
|    | 教育推進課庶務係長 | 丸 | 山 | 継 | 典 |
|    | 同 主査      | 飯 | 田 | 常 | 雄 |

|              |                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | 開 会 時 刻 午後３時                                                                                                                                                                                                                       |
| 松 原 委 員 長    | <p>松原委員長 ただいまから、平成２５年第８回教育委員会定例会を開催します。本日は傍聴がなしということで、日程に入っていきたいと思います。</p> <p>日程第１、署名委員を決定します。今回は早川委員と尾上委員にお願いします。</p> <p>日程第２、議案の審議に参ります。</p> <p>はじめに、陳情第１号を審議いたします。</p> <p>はじめて付議されるものですので、事務局に陳情文の朗読をお願いいたします。</p>              |
| 柴田<br>教育推進課長 | 〔陳情文朗読〕                                                                                                                                                                                                                            |
| 委 員 長        | <p>ありがとうございました。</p> <p>まず、陳情理由、１番の「３１１フクイチ」という部分、これは３月１１日の福島第一原子力発電所というものの、多分、造語だと思われるが、そういう認識でよろしいですか。</p>                                                                                                                        |
| 教育推進課長       | はい。                                                                                                                                                                                                                                |
| 委 員 長        | それでは、各委員からのご意見がありましたら、お願いいたします。ご質問でも結構でございます。                                                                                                                                                                                      |
| 石 井 委 員      | ３番目のところでお伺いしたいんですが、適正な機器という、はっきりとした言葉ではないような書き方なんですが、適正な機器ということで陳情されている方が何か考えられていることというのはありましようか。                                                                                                                                  |
| 住田学務課長       | <p>この日光林間学校の放射線の計測につきましては、現在も、区のホームページに測定の結果についてということで、掲載をしているところであります。この結果についてということでは、昨年の５月１７日に、東京都から江戸川区に貸与された小型放射線測定器のＤｏｓｅＲＡＥ２を使いまして、日光林間学校内を高さ１メートルで５カ所測定した結果が載せられているということとであります。</p> <p>今、委員がおっしゃる適正な機器ということですが、こちらの小型放射線</p> |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | <p>測定器DoseRAE2については、江戸川区全体では、23年6月と12月に2回測っているんですけども、その最初の6月に江戸川区全体を測ったときに使われた東京都貸与の機器ということで、環境部から借り受けたものです。ただ、環境部のほうがもう少し大型の機器を使って、例えば2回目の23年12月には区内全体を計測していますので、そういったような機器を使ってというのが適正な機器というふうに言っているのかなというように類推といいますか、考えられるということでもあります。</p>                                                                                                                          |
| 石井委員 | <p>この小型放射線測定器と、それからもう少し大型の機器とでの線量の出る値といいましょうか、結果はどのくらい違ってくるのでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 学務課長 | <p>これも環境部が何カ所かやや大型の機器とこの小型放射線測定器で測った値をそれぞれに一覧で示しながら、ホームページで公開しているところです。小型放射線測定機については、安全側に評価するように表示調整されているため、実際より高い数値を出す特徴があるということで、やや数値は高目に出る傾向があります。</p>                                                                                                                                                                                                             |
| 石井委員 | <p>わかりました。ありがとうございました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 早川委員 | <p>2番についてなんですけれども、子どもたちが使用する区外施設ということで、日光市のことを指しているのかなというふうに思いますけれども、この日光市の公表されなくなったというか、これは何か理由があるのでしょうか。そういう情報があるのかどうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                         |
| 学務課長 | <p>日光市は、市のホームページに東日本大震災以降いろいろなところで測定を行った結果を公表しています。その中には、市内5カ所で、定期的に1日四、五回くらい測った結果を載せている部分があります。その他に1週間に一回、観光地であるとか、移動測定器を使って報告をしている箇所があります。この陳情の2番で言っているのは、日光市の幼稚園、保育園や小中学校で1日1回測って載せていた計測値について、昨年の秋くらいから校庭を少し削って除染するという作業を行って、それで、それ以降の測定値が今、日光のホームページでは載せられていないということを言っていることだと思います。</p> <p>ただ、他のところの計測値は、1日何回とか1週間に一回という割合で載っていますので、我々は、そういった数値を日々見ているのと、あと、日光</p> |

|         |                                                                                                                                                                                     |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | 市内のモニタリングポストなども数値を見ながら、そういう変化がないかどうかというのを見ているような状態ではあります。                                                                                                                           |
| 早 川 委 員 | これは陳情ですから、最終的には採択をするのか、不採択とするのか、継続とするかという三つしかないわけであります。去年、同じような陳情が出てきて、独自に何か測った数値を出してきて、それを踏まえて論議をいたしました。その結果、現状というか日光市の測定というのでよいのではないかという経過があったと思いますが、その経過に間違いがないかどうか、事務局に確認いたします。 |
| 学 務 課 長 | 同じような陳情ということで、昨年、この日光林間学校内の放射線測定について、さらに回数を増やして、測り方ももっと細かくした上で、より大型の機器を使って定期的に測定をするようにという陳情がありました。これについては不採択ということで、教育委員会の中で結論を出しております。                                              |
| 早 川 委 員 | そうすると、陳情理由の1番で、監視が必要だという、何か新しい事態、例えば極めて汚染した地域が見つかったとか、あるいは汚染した食材が市場に出てきたとか、そういった新しい事態があるかどうかというのは、どうでしょうか。                                                                          |
| 学 務 課 長 | 先ほどお話しした日光市のホームページなどでの測定結果を見る限りでは、徐々に数値は下がっているような状態でありまして、安定的に推移をしていると考えているところであります。                                                                                                |
| 早 川 委 員 | 震災からまだ2年少しということですし、私自身としても決して忘れてはならない、監視を怠ってはいけないことだと思います。ただ、お金が無尽蔵にあるわけではないこと、不安をあおってもいけないということから考えると、現状でも常時監視はしていると思います。また、これは質問なんですけど、去年は江戸川区独自で日光林間学校の施設内の計測を行ったんでしょうか。         |
| 学 務 課 長 | 平成24年5月17日に日光林間学校の屋外の5カ所で測定した結果をホームページに載せおります。去年、日光林間学校が始まる前に行っているということであります。                                                                                                       |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 早 川 委 員   | 一昨年はどうだったんでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 学 務 課 長   | 一昨年は行っていません。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 早 川 委 員   | そうすると、去年の５月１７日に行った測定については、陳情が出たかどうかは関係なく、今年も行う予定というのはありますか。                                                                                                                                                                                                               |
| 学 務 課 長   | 去年は保護者の間からも少し不安の声があったこと、また、体験学習部会ということで、林間学校等について校長先生が組織している集まりがありますが、そこからも一度測定してみてくれないかというようなお話がありました。そういったものも受けて、測定をしています。ただ、最近では、一般の保護者の間からとか校長先生から学務課に測定してほしいという要望は来ていませんので、今年は測定する予定は特にないというような状況です。                                                                 |
| 尾 上 委 員   | <p>先日、タケノコの食材のことが話題になりました。保護者ないし、またこういう方々もそうだと思いますが、やはりある意味の心配というのは当然誰もが抱えていることだと思います。</p> <p>そういうことを考えると、ぜひ、要望があるからということではなくて、子どもの安全第一ということだと、今年もそういうものの検査を行ってもいいんじゃないかなという気はしますけれども、その辺はいかがでしょうか。</p>                                                                   |
| 学 務 課 長   | 江戸川区の場合、すでに平成２３年６月と２３年１２月の２回、環境部で区全域の測定を行いました。区の環境については、環境部が担当しておりますが、環境部では、特に放射線量が増えるような新たな事象等がなければ、測定を行う必要がないというような見解を出しているところです。そういう環境部の考え方に則って、教育委員会としても、昨年１回測定して特に大きい数値は出ませんでしたので、そういう面では、特に空間放射線量が増えているというような事象は起きていないということで、今年は測定する予定がないというお話をさせていただいたということでもあります。 |
| 浅 野 教 育 長 | これまでも同様の陳情があり、教育委員会で議論して結論を出しています。それがどういう内容のもので、教育委員会でどういう結論を出したかということのを抜きにして、議論することはできないと思います。その経緯をわかる範囲内で教えていただけますか。                                                                                                                                                    |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学 務 課 長 | <p>昨年、第１７回定例会と第１８回定例会に、日光林間学校の放射線測定を求める陳情と日光林間学校の計測及び情報公開を求める陳情が出されているところであります。教育委員会でも、いろいろな審議がありました。例えば、吉野前委員長は林間学校に独自で視察に行かれましたし、日光市のホームページなどで市が公開している放射線の情報などもご覧いただいた上で、ご判断いただいて、両方とも不採択になったというような経緯があるということでもあります。</p>                                                                                                                                                                                        |
| 委 員 長   | <p>栃木県日光市のホームページで全部データを見ましたが、やはり市で除染といいますか、小学校や中学校の表土を取るというような経緯の中で、きちんとしているということでしたので、不採択のほうに私は挙手をした経緯があります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 早 川 委 員 | <p>子どもについての放射能の影響、特に甲状腺に対する影響は大人よりあるという認識は持っておりますが、環境部の見解というのに沿って教育委員会としても、区民や保護者の皆さんにもご納得いただけているということならば、特に新しいことをする必要はないと思います。私自身としては、放射能が減ってきているという報告がありましたけれども、決して終わっているという認識はしていません。</p> <p>日光市もそういう対策をしたというのはわかりますが、江戸川区の他にも日光林間学校の近くに施設を持っている区もあると思います。他の区や市の教育委員会の例というのはどうでしょうか。</p>                                                                                                                       |
| 学 務 課 長 | <p>日光には、幾つかというか、かなり多くの市の小学校などが修学旅行などで訪れております。一つは相模原市がありますが、相模原の教育委員会が測定器を持って、日光市内で泊まる場所とか、子どもたちがハイキングするところや見学するところなどについて、独自の測定を行った上で、安全上問題はないということで、市のホームページに正式に表明しました。</p> <p>その他にも、環境省も日光は観光上問題がないとしておりますし、日光市自身も観光安全宣言ということで、市長名でホームページに宣言を出しているところでもあります。</p> <p>また、日光市内には、東京２３区でも幾つかの林間学校がそこに設置されている状態であります。足立区と江東区と江戸川区が所野という日光市の住所の中に、林間学校とか林間学園を設置しておりますが、足立区と江戸川区は測定しており、江東区は特に測定しておりません。各区の学務課長の間で、</p> |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>林間学校等について、東日本大震災後に情報交換などしておりますが、特にそれで日光市の利用を取りやめたといったところは聞いてはいないという状況であります。</p>                                                                                                                                                                            |
| 早 川 委 員 | <p>去年の動きは私も報告を受けているので知っていますが、今年になってどうなのかというのが知りたいんです。今年については、今から取りかかるところなのかもしれませんが、どういう状況ですか。</p>                                                                                                                                                             |
| 学 務 課 長 | <p>今年度は、全区とも日光林間学校については、通常どおり実施する予定です。</p> <p>私どものほうで、一番数値として参考にしているのは、日光消防署の測定値です。日光市のホームページに載っているんですけども、これが日光林間学校から直線距離で１．４キロぐらいであり、一番近い測定ポイントになっています。日光消防署の測定値は去年に比べて落ちている、放射線量が減っているというような状況です。そういう面では、去年よりもっと安全性といいですか、放射能の影響が少なくなっているというように考えております。</p> |
| 早 川 委 員 | <p>測定しに行くこと自体は、そんなに悪いとは思いませんが、費用対効果というか、それだけの意味があるかということと、測定しに行くほど悪いのかという認識を区民の方々に逆に与えるという影響もあるのではないかと思います。</p> <p>また、今の住田課長のお話にあるように、日光消防署の測定値を常にモニタリングしていると、そういうことで不安がないということだと、我々の中で結論は出しやすいんじゃないかというように思います。</p>                                          |
| 石 井 委 員 | <p>今、早川委員がおっしゃった費用のことについて、ちょっとお伺いしたいんですが、実際行って、平成２４年５月１７日にはかった事柄と同じようなことをやると、どのぐらいかかるものでしょうか。</p>                                                                                                                                                             |
| 学 務 課 長 | <p>器械自体はただで環境部から借りられますので、日光に行って帰ってくる測定者の旅費がかかるというところです。</p>                                                                                                                                                                                                   |
| 石 井 委 員 | <p>林間学校の施設を、例えば、林間学校の始まる前、５月の中旬という時期に、区でも経時的に見ているんだというような姿勢を出すことは、これは行政から考えても、かなりプラスにアピールすることにつながるかなとも思え</p>                                                                                                                                                  |

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>委 員 長</p>     | <p>ます。私は、できることであれば、年に1回程度、それで高目に出るということなので、彼らは適正な機器と言っていますけれども、適正な機器はD o s e R A E 2 でもいいのではないかなと思います。だから、そういうようなことをやっていくというようなのは、いかがなものでしょうか。</p> <p>私は、最近は日光市のホームページを見ていないのですが、少なくとも、いろいろ報道関係を通して、昨年以上に状況が厳しいというような報道が一切ないわけですから、今住田課長がおっしゃったように、最も近い日光消防署で測られた数値から、本区の林間学校の状況を類推することは可能だろうというふうに思います。</p> <p>そのときに、今年度、もし測定に行ったときに、現場の校長先生方が、あるいは親御さんが何でまた行くのかなというように、逆に心配を与えてしまうのではないかなという懸念は考えていく必要があると思っています。</p>                                             |
| <p>浅 野 教 育 長</p> | <p>やっぱり一定の空間の中で、そこが安全の基準の中にあるかどうかということが基本だというふうに思います。江戸川区も常時監視しているのは篠崎にあります。これは、一定の時期にまとまった調査をしたこととは別に、日々、数値が出るようになっていて、ここに大きな変化があれば、それは何か対応が必要ですねということになると思います。それと同様で、日光は日々、除染した学校を除いては、今でも公表されているわけですから、その測定が続いている中で、安全な範囲内で、しかも低減しているということであれば、そこに暮らしている方にとっては、全く安全な範囲内で暮らしているというところがありますよね。</p> <p>だから、それを心配だというような根拠というのは、本当は我々は持ち得ないんじゃないかというふうに思うんです。やはり一定のエリアの中で、安全であるという数値の範囲内ということを考えれば、全く私は問題ないというよう思っており、そもそも測定は日光市でやっているということを前提に、この間の判断を私はしております。</p> |
| <p>委 員 長</p>     | <p>では、本陳情については、教育委員の皆さんの意見が全て述べられたと思いますので、これから挙手をお願いしたいと思います。それでよろしいでしょうか。</p> <p>〔「はい」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委 員 長   | <p>それでは、陳情第 1 号につきまして、採択という方は挙手をお願いします。</p> <p>〔挙手なし〕</p>                                                                                                                                                                                              |
| 委 員 長   | <p>それでは、不採択という方は挙手をお願いします。</p> <p>〔全員挙手〕</p>                                                                                                                                                                                                           |
| 委 員 長   | <p>それでは、全員が不採択ということですので、陳情第 1 号は不採択といたします。</p> <p>それでは、次に、陳情第 2 号を審議いたします。はじめてこれも付議されるものですので、事務局に陳情文の朗読をお願いいたします。</p>                                                                                                                                  |
| 教育推進課長  | 〔陳情文朗読〕                                                                                                                                                                                                                                                |
| 委 員 長   | それでは、この陳情第 2 号につきまして、ご意見をお願いしたいと思います。                                                                                                                                                                                                                  |
| 石 井 委 員 | 親子授業というのは、何を意味しているのでしょうか。                                                                                                                                                                                                                              |
| 松井指導室長  | 一般的な解釈としては、学校の中で行うとすれば授業参観の形の中で、子どもと保護者が一緒になって、今回のことと言えば、放射線について学ぶ機会を持つということだと考えております。                                                                                                                                                                 |
| 石 井 委 員 | あくまでも学校で親と子が一緒に学べる、そういうチャンス을設けてくれということでしょうか。                                                                                                                                                                                                           |
| 指 導 室 長 | 放射線等に関する副読本を使った親子授業という記載がありますが、この放射線等に関する副読本につきましては、平成 23 年 10 月に文科省が発行しております。小学生向け及び中学生向けのものがあります。これにつきましては、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故から多くの人々が疑問や不安を感じている状況の中で、文部科学省で放射線が身近にあるということや、いろいろなことに利用されていること、放射線による人体への影響、放射線の測り方や放射線から身を守る方法などについて紹介した副読本になっております。 |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | これにつきましては、平成24年4月に、江戸川区では全小中学校に配布しております。                                                                                                                                                                                                                                   |
| 早川委員 | 配布されたのは、私も報告で聞いていますけれども。配布したということと、これを取り上げて、1時間でも2時間でも授業をしたかどうかというようなことは、指導室として調べたことはあるんですか。                                                                                                                                                                               |
| 指導室長 | その確認はしてございません。                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 早川委員 | 去年1年間、子どもたちにこの副読本を使って授業をしたかということを調べる方法がありますか。                                                                                                                                                                                                                              |
| 指導室長 | <p>調べることはできます。本来であれば、この放射線に関する授業というのは、中学校3年生の理科で取り扱うものです。しかし、先ほどお話ししたとおり、文科省では指導の一助としてご活用くださればということで発行したものです。教育委員会としても、指導室としても、そのことを受けて、日常の指導の一助にしていきたいということで配布しております。活用については、各学校が状況に応じてやっていると思います。</p> <p>また、24年4月にこの副読本を全校配布しましたが、25年度以降は、文科省のホームページで閲覧するようになっております。</p> |
| 早川委員 | <p>私としては、昨年度この副読本を使って授業をしたかということを、次の教育委員会でご報告いただき、それをこの議論の参考にして、結論を出したいというふうに思います。</p> <p>次の教育委員会で、昨年度我々はどういう教育をしていたかということを確認するために、今回については継続審議ということをご提案いたします。</p>                                                                                                          |
| 石井委員 | <p>この陳情そのものについて問題にしたいんですけど、陳情になっていないと思うんです。まず、はじめに申し上げましたように、親子授業開催を求めている親子授業というのは何かということがわからない限りは陳情になりません。</p> <p>それから、1番でいえば、正確な理解、この文章を読んで、何の正確な理解なのかというのが非常に不明確です。都市濃縮がクローズアップ現代で取り上げられれば、誰でも知っているべきことであろうというのは暴論であって。3番目の放射能汚染問題にしても、ちょっと雑駁過ぎる表現だと思います。</p>           |

|         |                                                                                                                                                                                                                   |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | ます。                                                                                                                                                                                                               |
| 委 員 長   | この内容については、私も石井委員と同じような思いがありましたけれども、親子授業の開催、この１点に尽きるのではないかと思います。いずれにしましても、早川委員から出ました昨年度の各校における実態について調べていただいて、この件については、今回は継続審議という形がいいのではないかなと思っています。                                                                |
| 教 育 長   | 親子授業とは何なのかというのはありますけど、委員さんがそれぞれそれを認識して疑問がなければ、それで結論を出すということも、文書の場合はしようがないというふうに思います。                                                                                                                              |
| 早 川 委 員 | 私としては、調査した結果として、区全体でどのような対応が行われたかということをチェックすること自体は、意味があると思っています。<br>それがこの陳情に対する答えになるかどうかは別として、陳情というのは、ある行動を必ず決めなきゃいけないという場合の陳情もあるし、教育委員会として、その趣旨を踏まえてどうするのかという部分もあると思います。そういった後者的な部分で、改めてチェックする必要があるんじゃないかなと思います。 |
| 尾 上 委 員 | 私も、やはりこういう副読本が配られたということは、学んでほしいということが前提だと思うんです。そういう部分の中で、やはり学校として、どのような教育をしてきたかということはとても大事な視点だと思いますので、ぜひ、その辺は学校側に問い合わせさせていただきながら進めていければいいなと、そんなふうには思います。                                                          |
| 教 育 長   | その他、いかがでしょう。                                                                                                                                                                                                      |
| 指 導 室 長 | 確認をさせてください。現段階で、副読本は配っておりますので、その副読本が例えばきちんと配付されているのかとか、それを使った授業があるのかとか、そのような副読本に関連した学校の指導内容を確認するということとでよろしいでしょうか。                                                                                                 |
| 早 川 委 員 | 私としては、副読本の配布状況や副読本を使った授業の状況に限っての確認でよいと思います。                                                                                                                                                                       |

|         |                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委 員 長   | <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                            |
| 委 員 長   | <p>それでは、第２号議案につきまして、継続という形で決定してよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                    |
| 委 員 長   | <p>それでは、第２号議案は継続といたします。</p> <p>次に、第１９号議案、第５０回夏季アカデミー国語教育全国大会に伴う教育委員会後援名義使用承認についてを議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>                                                                                                                |
| 指 導 室 長 | <p>第５０回児童言語研究会夏季アカデミー国語教育研究大会の後援名義の使用許可願いが出ております。申請団体は児童言語研究会でございます。実施日が本年７月３０日、３１日、会場はタワーホール船堀でございます。対象者、それから出演者、講師等につきましては、ここに書いてあるとおりです。</p> <p>ここににつきましては、昨年度、後援をしなかったという経緯がございます。そここのところのだけ報告してよろしいでしょうか。</p> <p>〔「はい」と呼ぶ者あり〕</p> |
| 指 導 室 長 | <p>昨年度、審議で却下した理由は参加費が高いということでした。今年度、この申請を受けたときに、担当から確認したところ、参加費は変わっておりません。内容等につきましては、それまで継続しているところでございまして、昨年度もその参加費の段階で承認しなかったという経緯がございます。以上でございます。</p>                                                                                |
| 教 育 長   | <p>昨年の参加者の数はわかりますか。</p>                                                                                                                                                                                                                |
| 指 導 室 長 | <p>２８０人です。</p>                                                                                                                                                                                                                         |
| 教 育 長   | <p>タワーホールの大ホールで、２８０人ですか。</p>                                                                                                                                                                                                           |

|         |                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>一つは、基本的にこれは教員の集まりのように思います。だから、普通に考えれば、後援名義がなくても、自分たちの会ですから、できるんじゃないかというように思います。</p> <p>それから、会場費が高いということがあります。会場費が高いということが、要するに負担が大きいということの理由の一つになっていると思うんです。ただ、今、参加者を見たら、280人が去年全員だということであれば、何であんな高いところを借りるのかというふうに思います。</p> |
| 指 導 室 長 | 今年度につきましては、1日目が小ホール、2日目が各会議室と小ホールという計画で出されております。                                                                                                                                                                                |
| 委 員 長   | 江戸川区で開催しているのは、今年が何回目くらいですか。                                                                                                                                                                                                     |
| 指 導 室 長 | 47回目です。                                                                                                                                                                                                                         |
| 早 川 委 員 | 2012年は後援しなかったと。その理由は参加費の問題だということですね。この2011年と10年には申請が出ているんですか。                                                                                                                                                                   |
| 指 導 室 長 | 出ております。そして後援名義の承認をしているところです。                                                                                                                                                                                                    |
| 尾 上 委 員 | 江戸川区のタワーホール船堀を使うから、江戸川区の教育委員会へ後援名義を申請するということなんでしょうか。                                                                                                                                                                            |
| 指 導 室 長 | タワーホールを使うということで、その場所の教育委員会の後援名義だと思います。                                                                                                                                                                                          |
| 早 川 委 員 | 一般的に言えば、これは教員の研究会であって、教員の研究会をいろいろやるのは自由だけど、それを教育委員会が後援名義をする必要はないという論理でいいんじゃないかと思います。いろいろな研究会があるわけですから、それを別に江戸川区の教育委員会が後援する必要はないと。したがって、これは不承認でいいのではないのでしょうか。                                                                    |
| 委 員 長   | <p>その他ありますか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                            |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委 員 長   | <p>では、皆さんの委員さんのご意見が出されたと思うんですけども、19号議案は、不承認でよろしいですか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                                                                          |
| 委 員 長   | <p>それでは、不承認ということで決定をいたします。</p> <p>次に、第20号議案、江戸川区立中学校部活動における体罰事故報告（案）についてを議題といたします。報告をお願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                      |
| 指 導 室 長 | <p>それでは、私のほうから江戸川区立中学校部活動における体罰事故報告についてを説明させていただきます。</p> <p>平成25年1月、区立中学校2校において、部活動中の体罰が発覚しました。これにつきましては、マスコミに報道等もされましたので、それ以降、東京都の調査もございました。この2件が非常に重大な体罰事故だということで、この2件に絞って、その経緯ですとか聞き取りの内容ですとか、そういったものを踏まえて分析をして、今後に向けてということで、まとめさせていただいたものでございます。</p> <p>内容につきましては、A校、B校ということで、学校名は出しておりません。今後につきましても、その予定であります。</p> |
| 委 員 長   | <p>今、室長のほうからご説明いただきましたけれども。すみません、この事故報告なんですけど、これは都教委のほうからこういった形をつくれというものではないんですね。</p>                                                                                                                                                                                                                                   |
| 指 導 室 長 | <p>はい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 早 川 委 員 | <p>これは議案ですから、報告書を了とすれば、これ自体が江戸川区教育委員会の公式なA校とB校に対する見解ということになるかと思うんですが。これはマスコミや東京都などに公表するのですか。それから、マスコミが報道すれば、それはご父兄の方にも知らせるということになりますから、その扱いはどういうことが考えられますか。</p>                                                                                                                                                         |
| 指 導 室 長 | <p>今回、A校、B校とさせていただいたその理由でもありますが、教員のほうはそれはもう自業自得ですから構わないんですが、生徒のほうやはりま</p>                                                                                                                                                                                                                                               |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>だまだ実際問題としては、自分が悪いのに大ごとになってしまったですとか、間違ったことで生徒が再びこのことで思い悩むということがないように、学校名を伏せた形で指導室を中心にまとめたものです。</p> <p>教育委員会としてこの報告を認めていただければ、各学校、それから議会というところで、情報提供するというふうに思っております。それから、東京都教育委員会など関係するところには、冊子として報告はしたいと考えています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 早 川 委 員 | <p>マスコミはどうなんでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 教 育 長   | <p>一つは、先ほどの質問ですが、東京都とは直接関係のない報告になります。東京都は、東京都でアンケートを集計して、これは東京都全校に関する学校からの報告についてになりますが、5月に発表するというので、4月の教育委員会に諮っております。それがこの学校の部分に含まれて公表されるということはあることですが、それはまた別の問題だということ。これは、あくまで江戸川区の中で起きた事件について、江戸川区が事情聴取をして分析して、江戸川区からこういう事故を一掃しようというふうな取り組みを共有しようということです。</p> <p>今、室長がおっしゃったように、基本的には、江戸川区の学校の中からこういう体罰を一掃しようということで、これは何でもかんでもというより、あくまで部活というところの中で動いていることなので、そういうような学校に関する、そういう部活の中での体罰を一掃するというののためには、まず学校関係者がこのことについて共有するということだというように思っています。先ほど言いましたように、余り内容をオープンにして、皆さんに知ってもらおうというよりは、まず先生方がこういうことがあって、そのことは、議会にはいろいろな経緯を含めて説明する必要があると思っていますので、議員に配付するというのをやりたいんですけど、それ以上、ホームページ等でオープンにするようなことは今回はしないというふうに、今は考えております。</p> |
| 委 員 長   | <p>私は非常にいいことだというふうに捉えています。先般、定例校長会でも申し上げたんですけども、都のほうで校名を発表するというのは、この体罰については、都のほうもかなり厳しく捉えているということだと思いました。</p> <p>江戸川区の場合には、本当にきちんと調査して、この二つの学校について、</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>こういう形で議会も含めて、冊子をつくって読んでいただく。根絶に向けても大事ですし、私はいいのではないかなと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 尾 上 委 員 | <p>やはり知ることから、要するに一番大事な点というのがわかると思うんです。ですから、本当に広くという部分の中では制限はあると思いますけれども、やっぱり知っておくべきところをきちんと公開しながら、これを防いでいくという部分で、しっかりと取り組んでいきたいなと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                             |
| 石 井 委 員 | <p>調査の内容も非常に詳しく、またオープンにする範囲というのも教育に直接携わるところに、的確にかつ速やかにオープンにしてくださるということで、すごくいいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 教 育 長   | <p>今回の報告は、子どもたち自身が被害者ですけど、子どもたち自身がそのことを余りにも先生に申しわけないという思いがあるくらいの事件であります。だから、教育委員会の内部で皆さんが共通認識をして、体罰は一掃しましょうねということの取り組みをしようということです。</p> <p>報告書のつくり方としても体罰を全部やっているわけではなく、部活だけの報告です。だから、この事故に関して、そこから得られるものを取り出したという意味の内容となっております。東京都のアンケートが出発点ではありましたが、最初に大きく取り上げられた２校の問題をまずこの報告書はつくったというだけなので、部活以外にもあるじゃないかとか、そういうことについての分析を全部やっているわけではなく、非常に限定的につくったものです。</p>          |
| 石 井 委 員 | <p>調べ方というのもあると思うんですけれども、ある物事をぐっと深くまで調べていくと、その他の事柄にも通じるようなものが見えてくることがあると。今回の部活動の体罰については、二つの事例というのをぐっと深くまで見詰めて、二つの事例から見えてくる事柄というのをできるだけ一般化もしつつ、解決の方策までも出していこうということだと思うんです。でも、それでもできないものがあると、かつ、体罰というのはこの２例だけに限ったことじゃないので、だから、周辺をさらにきちんと体罰をなくすためには、やはりいろいろなことが必要になるというスタンスは、私はあってもいいと思います。</p> <p>調べることはこの二つに特化して調べたんですけれども、そこから見えてくるものというのは二つに限らず、より一般化できるものは一般化していっ</p> |

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>教 育 長</p>   | <p>てよろしいかなというふうに感じました。</p> <p>もともと江戸川区の部活動から体罰を一掃しようという取り組みを教育委員会と校長会と一緒にやりました。だから、全体として、とにかく学校から体罰をなくしていこうということで始めたものです。そして、その突破口として、まず、この事件について、徹底的に解明していけば、そこから皆さんに共通の問題が出てくるでしょうということです。</p> <p>しかし、私もこれを見たときにわかりづらかったところがあったので、全体としてどういう構成になっているかを、改めて説明していただけませんか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>指 導 室 長</p> | <p>それでは、目次をごらんいただければというように思います。</p> <p>はじめに事故の概要ということで、A校、それからB校ということで、それぞれ事故者がどういうことをしたということ、事故の発生の状況ということで、概要として載せてございます。</p> <p>その後、個々の事故の分析ということで、これにつきましては校長や当該教諭からの聞き取りが、まずあります。それから学校意識調査というのは、この当該校2校それぞれに対して、校長はどんな日常把握や日常指導をしていたのかという校長の意識調査。それから、当該教員以外の回りの教員はどう感じていたのかとか、どう振る舞ったのかと、そういったところの調査を、それを学校意識調査のまとめとして置いております。</p> <p>指導室としては、その聞き取りの段階から、この調査結果をもとに学校体制、教員の資質、生徒と保護者の受けとめという分類の中で、こういうところが問題だったんじゃないかという見解を述べております。</p> <p>その後、今後の体罰に向けてこういうことをやっていきたいといったところで、指導室としてこういうふうに取り組んでいくという流れの中で、学校としてはこういうふうにやっていくという流れです。</p> <p>最後のほうは具体物として、こういう資料を使って通知をしたり、調査をしました。または、もともと部活動ってどんなものですかということで、中学校の学習指導要領というところとで部活動の意義ですとか、最終的には文科省の通知等を添付しております。</p> <p>そういう流れで、全体の構成をさせていただきました。先ほどもありましたように、この報告書については、子どもたちへの影響、また今後の影響も考えまして、学校名もA校、B校という形で。具体の名前は伏せた、いわゆる呼称で呼ばせていただくような形でまとめてあります。</p> |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委 員 長  | <p>その他ありますか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 委 員 長  | <p>では、皆さんの委員さんのご意見が出されたと思うんですけども、20号議案は、承認でよろしいですか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 委 員 長  | <p>それでは、20号議案は、承認といたします。</p> <p>続いて日程第3、教育関係事務報告にまいります。教育推進課長からお願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 教育推進課長 | <p>まず1点目でございますが、異議申立書の取り扱いについてでございます。資料で4枚でおつけしてございます。3枚目をごらんいただきたいと思いますのですが、25年4月9日付で、行政不服審査法に基づく異議申立書を収受いたしました。</p> <p>この内容につきましては、平成24年12月25日の教育委員会において行った議決第58号議案、そして59号議案についての議決の取り消しを求めるものであります。本案の審査に先立ちまして、本件議決が行政不服申し立ての対象となり得るかの、このことについて確認をいたしました。</p> <p>行政不服審査法第1条には行政庁の処分ということで、その行為による直接区民の権利、義務を形成し、またはその範囲を確定することが法律上認められているものを指しているという記載がございます。</p> <p>しかしながら、この本件の議案については、いずれも行政機関の内部の行為に過ぎず、それらによって直接区民の権利、義務を形成し、またはその範囲を確定する効果というものを伴うものではありません。</p> <p>そこで、行政庁の処分に当たらないということが明らかでありますので、この本件の異議申し立てにつきましては、教育委員会において本案について判断するまでもなく不適合ということで、行政サービス審査法第47条第1項の規定を適用しまして、却下とする他にないというふうに考えてございます。</p> <p>ちなみに、この58号の議案でございますけれども、江戸川区立学校設置条例の一部改正についてという議案でございます。鹿本幼稚園を削除するもの、条例改正案の件でございます。59号議案につきましては、篠崎幼稚園及び小松川幼稚園を平成29年度末から31年度末に閉園する旨の方針を教</p> |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>育委員会として決定したものであります。</p> <p>ということでございまして、今回の不服申し立てにつきましては、却下ということで扱いたいと思っております。</p>                                                                                                                                                                                                                         |
| 委 員 長   | <p>今の報告につきまして何かご質問、ご意見があれば、お願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 早 川 委 員 | <p>これは文言の解釈ですけど、教育委員会というのは行政機関の内部機関であるという認識が一つ。その内部機関の中での決定に過ぎないと。したがって、内部機関の決定だから、それによって直接区民の権利、義務を形成し、また、その範囲を確定する効果を求めたものではないと。この機関の決定が。それで、行政庁の処分に当たらないということだから、行政機関の決定というのは、どの時点で決定となるのか、ちょっと教えてください。</p>                                                                                                |
| 教育推進課長  | <p>今の決定という時点ですけれども、この５８号議案につきましては、その条例改正を区長に求める議決を教育委員会でしていただきました。その後、第１回定例区議会の中で、その議案が提出されまして、３月の最終日に区議会での議決をいただいて、条例改正ということになりました。</p>                                                                                                                                                                      |
| 早 川 委 員 | <p>そうすると、議決をしたときの行政庁の責任というのは、どういうふうに追及できるのか。議会に責任があるのではないかとか。</p> <p>そうすると、例えば訴える人の立場になれば、どこに異議を申し立てるのかというと、その議会の議決に対して申し立てる。議会が議決したわけだから、それに対して、その議決はおかしいということじゃないかなと思うので、そういうふうに解釈していいのかどうかと。</p> <p>議会で決定したものに対して、その内部である教育委員会がいろいろな過程の中で、それを行政側の条例改正案としてつくる作業について、一々異議というのはないだろうという、そういうふうな解釈でよろしいかと。</p> |
| 教育推進課長  | <p>そのような解釈で、却下ということです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 早 川 委 員 | <p>それでは、まだ議会の議決をいただかないときに、ホームページ等でそれを知ったときには、それは有効なのかどうかということを知りたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                       |
| 教育推進課長  | <p>それは、政策形成の前段階でございますから、教育委員会では秘密会で決定をしていただきました。その後、議会で議決が終わりまして、教育委員会</p>                                                                                                                                                                                                                                    |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>委員 長</p>   | <p>の議事録も公開ということになりました。その公開を受けての今回の申し入れであります。</p> <p>ですから、政策形成の過程の中での議会、本来であれば区長部局にあって、議案の提出という時点では公開とかそういうものはありません。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>委員 長</p>   | <p>では、特にその他ないということなので、ただいまの報告事項を了承いたします。次の報告事項をお願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>教育推進課長</p> | <p>教育推進課から 2 件ございます。</p> <p>まず 1 件目でございますけれども、MOA 美術館の江戸川区児童作品展についての後援の名義使用でございます。これにつきましては 18 回目ということでございまして、教育委員会の他にも江戸川区、医師会等も後援の予定をしているということでございます。</p> <p>また、広く文部科学省、外務省、厚生労働省等も、その後援ということでやっている事業ということを知っております。ちなみに、昨年の応募数は江戸川区からは 27 校、915 点の出展がございました。</p> <p>2 点目でございます。子ども文化フェスティバル in 江戸川 2013 でございます。この辺につきましても 4 年前スタートしまして、今回で 5 回目の後援名義の使用申請でございます。実行委員会は、子ども文化コミュニティ江戸川を中心とした組織であります。7 月 15 日ということで、文化センター全館を使って行う事業であります。</p> <p>ちなみに、昨年の参加者は 2,700 名ということであります。教育委員会の他にも江戸川区、そして小・中 P 連、小・中学校校長会、江戸川区医師会さん等にも後援の依頼をしているものでございます。</p> <p>教育推進課からは、以上でございます。</p> |
| <p>指導室 長</p>  | <p>指導室より続けて、後援名義 1 件の申請についてご説明させていただきます。</p> <p>NPO 法人トラッソスからの申請であります第 6 回全日本知的障害児・者サッカー競技会のフェスタでございます。平成 25 年 10 月 20 日(日) 江戸川区陸上競技場で開催いたします。参加資格が知的障害のある幼児から成</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>人の方ということで、参加費が団体競技 1,000 円、個人競技が 500 円、ということになっております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 委 員 長   | <p>今 3 件ですが、何かご意見、ご質問等がありますか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 早 川 委 員 | <p>後援名義の扱いの問題なんですが、日程第 2 の議案審議の中で、第 19 号議案で先ほど不承認ということだったんですが、教育委員会第 50 回夏季アカデミー国語教育全国大会に伴う教育委員会後援名義の使用承認ということで議案になっています。これになると、報告事項になるのはどうしてですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 指 導 室 長 | <p>後援名義の使用につきましては、継続しているものにつきましては報告事項で、新たなものについては議案でということになっております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 委 員 長   | <p>その他、いかがでしょう。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 委 員 長   | <p>特にないということで、この 3 件につきましては、了承いたします。次の報告案件をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 指 導 室 長 | <p>平成 25 年度の全国学力・学習状況調査の実施についてということで、期日は明日 4 月 24 日になります。全国の小・中学校、江戸川の小・中学校全校、今年度は文科省の悉皆調査ということになります。</p> <p>調査の内容ですけれども、小学校の国語、算数、中学校の国語、数学の各 2 教科になります。今年度、きめ細かい調査というようになっておりますが、文科省のほうで数年に 1 度、国語、算数、国語、数学、それを本体調査と呼びますが、それ以外に経年変化分析調査、保護者に対する調査、教育委員会に対する調査というのが新たに加わりました。これを加えて、きめ細かい調査となっております。</p> <p>今年度、区内では小学校では大杉小学校、第七葛西小学校、それから中学校では小岩第五中学校が経年変化の分析調査の対象校になっております。保護者に対する調査の対象校として、小学校 2 校、上小岩第二小学校、新田小学校、中学校 1 校、松江第四中学校が、国のアトラダムな指定ということで選ばれております。</p> <p>本体調査は明日行いますが、経年変化分析調査等につきましては、それぞ</p> |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>れの学校で日にちを指定して、期日までに実施するという状況になってございます。</p> <p>この調査を受けて、結果が来るのが夏ごろになろうかというふうに思いますが、各学校では個票を配布するとともに、授業改善プランというものを作成して、その結果から傾向を見て、授業改善に生かす。そういうサイクルになっております。</p> <p>続きまして、平成25年度日本のしらべの実施一覧を配付させていただきました。このことにつきましては、平成4年度から全中学校を訪問実施している鑑賞教室でございます。毎年11校ずつ回って、中学校3年間のうちに、どこかで必ず体験できるというものでございます。今年度の開催校及び開催日程が以上のとおりになっています。以上でございます。</p> |
| 委 員 長   | 学力調査と日本のしらべで何かご意見なりましたら、お願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 石 井 委 員 | 学力調査でお伺いしたいんですが、英語は科目としてないんでしょうか、それとも入れることはできるけれども、入れてはいないという、どちらでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 指 導 室 長 | 今回の文科省の調査につきましては、教科も指定されておりますが、英語は入っておりません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 尾 上 委 員 | この結果というのは、調査結果はどういう形で出てくるんでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 指 導 室 長 | それぞれの学校がやったものは区教委が集約しまして、それは文科省のほうにいて、文科省としては個別の学校別、それから個票を区教委を通して子どもに返します。国全体の傾向といったものの分析については、文科省のほうで行います。                                                                                                                                                                                                                                 |
| 尾 上 委 員 | すごく参考になると思いますので、ぜひとも大いに利用して、何か江戸川のきちとした資料として取っておいたり、対策が組めるようにしていただくと、よろしいんじゃないかなと思います。                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 委 員 長   | <p>その他、いかがでしょう。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>委 員 長</p>                    | <p>他にないということなので、学力調査と日本のしらべについては、了承したいと思います。</p> <p>それでは、いじめ相談の対応についてお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>松井<br/>教育研究所長<br/>(指導室長)</p> | <p>いじめ相談の対応例ということで、昨年度１年間のいじめ電話相談の状況を資料として配付させていただいております。</p> <p>まず、昨年度１年間ですが、いじめの電話相談ということで受付件数が４７件ございました。内訳については表にあるとおりですが、主訴としては、死ねとか気持ち悪いとか、それはその時々であります、直接的な言葉を言われたというのが一番多く３２件、それから無視をされる、暴力を振るわれるなどが二ケタになっております。これらが４７件のうち複数絡まっていることもございますので、全部で７９件というふうになっています。</p> <p>電話をかけてくる対象として一番多いのが母親です。その後は本人、それから父親ということで、その他につきましては祖父母や知人ということで、これについては本当に概要といいますか、こういった相談が昨年１年間かかってきましたということでございます。</p> <p>私のほうからこの数値とともに、いじめ電話相談の対応ということで、基本的にどのような状況であるのかといったときに、対応のパターンが大別して三つございます。</p> <p>一つは、完全に匿名で、学校ですとか教育委員会、ここでいう教育委員会は指導室になるかと思うんですが、そういったところには連絡してくれるなといったことです。その多くが、まだ子どもの様子を見て、例えば母親なりが、私が心配している段階だからとか、それから教育委員会を通して学校に連絡されるよりは電話相談の中で、やっぱり自分で学校に相談に行ってみるとか、そういった形の中で電話受付の中で匿名の方があると。そういった場合には、相談の電話としては、内容によっては来室を促して、電話ではなく直接来ていただだけませんかとか。その後、できれば今後のこともあるので、連絡先を教えていただだけませんかというような形で、なるべく特定できるような形でいます。</p> <p>もう一つは、教育委員会指導室へは連絡していただきたい。ただ、学校には言わないでほしいというのがあります。これは、学校と話し合うつもりがない。これは拒否型なのか、先ほどのように、まだちょっとそういう段階ではないとか、直接じゃなくて間接的に学校にいつてしまうと、学校にどう捉えられるか不安があるというような状況になっています。指導室を通して管</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>理職に訴えることができるというようなことを伝えと、ではお願いしますというパターンもございます。</p> <p>それから、電話の中で指導室や学校にも連絡をお願いしますといったところです。こういった形の場合には、速やかに指導室を経由して学校に、どこどこ学校の誰その本人やお父さん、お母さんから電話があつて、こういう主訴がありますよということで、学校からアプローチしていただいて、解決に導くというようなことがあります。本当に担任には伝えていないとか、いろいろなパターンがありますが、できるだけ解決に近づくような状況に、電話のほうで相談に乗っていくということです。</p> <p>ただ、これは急いでしまうと、当然のことながら電話する者の信頼を損なったりしますので、そこはプロの相談員としてきちっと受けとめながら話の中から気持ちを和らげていって、そういうスタンスで電話の対応をしております。</p> |
| 委 員 長 | <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 委 員 長 | <p>それでは、研究所の報告につきましては、了承ということでしたいと思います。それでは、以上をもちまして平成 2 5 年第 8 回教育委員会定例会を終了いたします。</p> <p>閉会時刻 午後 5 時 5 7 分</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                               |